

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16 19 28	令和2年度は、コロナウィルス感染予防対策にて、面会の自粛や家族会の中止等で、入居者様と御家族が会えない不安があると考え。今後も感染予防対策の必要性を考えた上で、会えない不安を解消できるよう改善の余地あり。	感染予防対策中は、入居者様の日頃の様子、変化等をご家族様に、より分かりやすく伝える事が出来る。	現在行っている、毎月、生活の様子をお伝えする手紙と、季節ごと写真だけでなく、動画や電話などで入居者様の様子が分かる様、情報を提供する。又、御家族様へ来苑時や電話でも介護職員、医務職員から適宜詳細を報告する。	12ヶ月
2	13 26 36 37 38	グループホーム内での認知症研修(毎月)と法人全体での認知症研修にて、認知症ケアについての専門的な知識や技術習得を目指しているが、職員それぞれの経験年数等の差で対応の統一性に欠ける。チームでの認知症ケアを進める必要があり、改善の余地あり。	①認知症の方への、介護や声掛けの根拠を理解し示す事が出来る。 ②介護や声掛け後に職員それぞれが内容を検証できる。又、それを職員同士で申し送りや情報交換が出来る。	認知症研修を中心とした認知症を理解する機会を設ける。朝礼や夕礼時、特記事項や報告にあがった個々のケースについて、適切な認知症ケアに基づいた解決・支援方法を検討する。又、職員同士で説明、指導できる。	6
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。